

野又圭司 × 富田哲司 「となりのひと」の話

Hokkaido Art Society presents ART TALK Vol.26 Keiji Nomata × Tetsushi Tomita "Talk about our neighbor"

2012年 **8月3日** (金) 18:30 ~ 20:00

紀伊國屋書店 札幌本店 インナーガーデン

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル 1F ☎011-231-2131

北海道芸術学会では、広く芸術分野に携わる方を講師に招いてアートトークを開催してきました。今回は、本郷新記念札幌彫刻美術館で開催中の「となりのひと」展の出品作家である野又圭司氏と富田哲司氏をお招きします。世代や手法は異なりつつも、共に社会性のある作品を手がけるお二人に、本展のテーマである「人と人の距離」を端緒として、それぞれの制作への姿勢や想いについて語っていただきます。聞き手：樋泉綾子(本郷新記念札幌彫刻美術館 学芸員)

参加無料、予約不要。
どなたでもお気軽に
ご参加ください。

野又圭司 Keiji Nomata



1963年函館市生まれ、岩見沢市在住。1989年北海道大学文学部哲学科卒業。銅、石膏、木などを素材に、現代社会への批判的視点による精巧な立体作品を展開してきた。「となりのひと」展では、孤立死を題材に、セメントによる重厚な集合住宅を通して現代における孤独のありようを表現した。

富田哲司 Tetsushi Tomita



1977年札幌市生まれ、札幌市在住。2001年札幌市立高等専門学校インダストリアル・デザイン専攻修了。写真、映像、立体など多様な手法により、社会批評的作品を制作。「となりのひと」展では、YKK5号のジッパーがついた衣服を人から借り受け、服同士をつないでいくプロジェクトを展開している。



《助けて欲しいんじゃないのか。》2012年



《Zip Us Up Art Project in となりのひと》2012年

●展覧会情報

New Eyes 2012



Art about our neighbor

2012年6月2日(土) ~ 8月26日(日)

10:00-17:00 (入館は 16:30 まで) 月曜休 ※7/16 は開館、7/17 休館
一般 500 円、高校・大学生 300 円、中学生以下無料

開催中!

他者との距離、他者へのまなざしをテーマにした美術展。

出品作家：鴻上宏子、小林麻美、佐竹真紀、富田哲司、野又圭司、村山由布、本郷新

本郷新記念札幌彫刻美術館

札幌市中央区宮の森4条10丁目4-21 ☎011-642-5709

お問い合わせ 北海道芸術学会事務局(北海道大学大学院文学研究科 芸術学講座内)

kiyohiko@let.hokudai.ac.jp (北村清彦)

または a.hiizumi@artpark.or.jp (本郷新記念札幌彫刻美術館 樋泉綾子)

